

REMODEL HAND BOOK

リフォーム便利帳

2005 3

懐かしさを

活かす

明かりでくつろげる空間づくり

京都・滋賀

リフォームの達人勢揃い



ガーデンリフォームをしよう！

に囲まれたオープンリビングで

極上のティータイムを

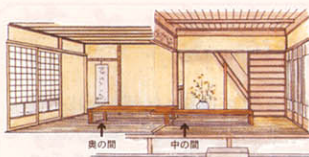
京滋地方リフォーム会社二覧



価値が見直されつつある町家。普段当たり前のように目にする家をユニークな方法で実際に復活させたプロジェクトがある。仕掛けたのは、町家が減り続ける現状に危機感を抱いた会社の経営者たちだ。

建て替えを踏みとどまらせ たぎっかけの家

「この通りにあるのはうちがほとんど手がけたんですよ。笑顔で話すのは不動産業を営むフラットエージェンシーの吉田修社長。吉田さんが指した北大路には古い町家が並ぶ。いずれもリフォームによって、昔の面影を残しながらも住みやすい家に再生された家だ。古い町家が次々と建て替えられている中で、この通りの家の多くが、壊すのを踏みとどまったのはきっかけがあった。



中も町家の雰囲気
を再現。ショールームにもな
っている。



土間もそのままに残し、雰囲気を大切にした

する場所に、「風呂部」と書かれた暖簾を下げる町家が見える。居酒屋のような雰囲気のある町家は、かつては廃墟。壊されるかどうかの瀬戸際に、吉田さんが借りた。同社がある西陣は、かつては織機の音が響く織物の町。今でも工房はあちこちに残るものの町家は次々と姿を消していった。そんな状況を見て、何とかしたいと痛切に思った吉田社長。町家をリフォームしてショールームにすれば町家の価値を見直してもらおう。きっかけになるのでは...。そう思った。

「どんな風にも町家を変えられ
るのか。それが分かれれば、壊す前
黒町は道の両脇に町家が並び、
ここだけかつての西陣の景色を
そのまま切り取ってきたかのよ
うだ。

街並みが今や呼び物に

渡文

に直してみようかと思つてくれ
るのではないかと思つたんです」
トイレを増設し、キッチンを取
替え、畳や襖、障子を張り替え
た。古くても情緒があるものは
残したいと土壁など当時のまま
残したところもある。

町家保全が、町内の街並保全
にまでつながった事例がある。
上京区淨福寺通上立売上ル大
黒町は道の両脇に町家が並び、
ここだけかつての西陣の景色を
そのまま切り取ってきたかのよ
うだ。



西陣織も展示される織成館の中

この街並みは、大黒町にある織
物業を営む渡文の渡辺社長と平
井機業店の平井社長を中心とし
た10年以上にわたる活動が実を
結んだ結果だ。

「大黒町街づくり協議会を発
足したのが4年前の平成3年。町
内会のメンバー約25世帯で活動を
始めた。かつて、西陣織の工房が
立ち並んでいた頃、この町も活気
にあふれていた。「自分(渡文のと
ころの工場にも300人くらい
従業員がいました。そんな工場
だらけでしたよ」と渡辺専務は振
り返る。しかし、次第にその数は
減り、活気にあふれていた通りは
次第に寂れていく。活気あふれて

いた街並みを
取り戻そうと
始まったのが、
街づくり協議
会発足のきっか
けだ。



石畳の両脇には町家。



織成館(おりなすかん)では西陣織の手織り体験もできる。